

令和6年度 指定管理者年度評価シート

1 基本情報

施設名称	大阪市立修道館
施設所管課・担当	経済戦略局 スポーツ部 スポーツ施設担当
条例上の設置目的	修道館は、柔道、剣道その他これらに類するスポーツの場を提供することにより、市民の心身の鍛錬に資するとともに柔道剣道等の普及振興に寄与することを目的とする。
業務の概要	市民に、柔道、剣道、薙刀や弓道を行う場を提供し、日本古来の伝統武道に接する場を提供することにより、武道の普及振興を図る。
成果指標	アンケート調査による利用者満足度数値
数値目標	利用者満足度80%以上
指定管理者名	公益財団法人大阪武道振興協会
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日（5年間）
評価対象期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日

2 管理運営の成果・実績

成果指標		利用者満足度
数値目標		80%
年度実績		96.0%
達成率		120.0%

利用状況

	当年度	前年度	前年度比
利用人数	16,143	15,982	101.0%
稼働率			

3 収支状況

収入		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
業務代行料	実績	38,516,255	38,877,044	0	
	計画	38,516,255	38,877,044		
利用料金収入	実績	7,527,240	7,971,250	-972,760	少子化が進み青少年の来館が減少している
	計画	8,500,000	8,500,000		
その他収入 （自主事業収入）	実績	5,201,395	5,337,795	-2,328,605	少子化が進み青少年の来館が減少している
	計画	7,530,000	7,530,000		
合計	実績	51,244,890	52,186,089	-3,301,365	
	計画	54,546,255	54,907,044		

支出		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
人件費	実績	21,778,358	20,777,657	-4,562,042	
	計画	26,340,400	26,340,400		
物件費	実績	13,674,144	15,283,393	1,174,144	計画時と比較して諸費が値上がりしている
	計画	12,500,000	12,500,000		
その他事業費 （自主事業支出）	実績	12,017,428	11,989,022	-1,016,472	
	計画	13,033,900	13,033,900		
合計	実績	47,469,930	48,050,072	-4,404,370	
	計画	51,874,300	51,874,300		

令和 6 年度 指定管理者年度評価シート

4 管理運営状況の評価（１次評価）

（１）成果指標の達成

評価項目	達成率	評価	特記事項
利用者満足度	120.0%	A	

（２）市費の縮減

市費の縮減に係る取組状況	評価	特記事項
<p>○ 光熱水費の料金が上がり、職員だけでなく利用者の皆様、関係武道団体の皆様も協力して、SDG s の取り組みの一環として光熱費の節約に取り組みました。修理できない旧型の電気機器やガス機器はエネルギー消費が少ない同型機種に交換することで、光熱費を節約しました。</p> <p>修道館では道場の照明、会議室や事務室の蛍光灯も間引きしました。</p> <p>○ 大会や昇級審査は、ホームページ（サイト）をご覧いただいて、申し込みをメールでいただくなど、郵送代、紙代、電話代を節約し、さらに申込用紙の様式は、そのまま大会準備作業や翌年の申し込みにコピーできるよう、毎年の同一様式とし、申し込み側の利便性の向上と道場側の正確性向上を実現しました。</p> <p>一方、IT環境にない規模の道場については、紙媒体での掲示や、参加勧奨のための案内の郵送や電話による勧奨を継続しました。</p> <p>○ 競技団体は、貸館の利用ですが、大会等の全体の経費削減にもご協力いただきました。</p> <p>会議室、講師控室、応接室の利用は事前に申し込みいただき、必要最小限にお願いしました。</p> <p>○ 職員間も紙媒体での情報交換は最小限とし、ラインやメール送信やパソコン内の閲覧を推奨し、社内でも徹底的に無駄を省きました。備品はもちろん、消耗品など「もの」を大切に扱う精神を養い、年少の利用者（練習生）にも指導者として範を示しております。</p>	B	

（３）管理運営の履行状況

評価項目	評価	特記事項
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営	B	
事業計画の実施状況	B	
施設の有効利用	B	
社会的責任・市の施策との整合性	B	

令和6年度 指定管理者年度評価シート

5 利用者ニーズ・満足度等

- 昨年度から継続している取り組み
ご利用の方からのご質問、ご意見をお聞きすることをまず第一としました。
館内で気づかれたこと、疑問に思ったことを口頭でもすぐお教えいただけるよう、お答えさせていただけるよう、話しやすい受付の接遇を心がけております。アンケートに書くほどではないけれど、施設の存在自体、管理者に感謝している、また、例年のことですが指導の先生によりしくお伝えください、という感想を受付で述べる利用者の方も多数おられました。
大阪市のスポーツ施設に係るアンケート調査を長期間実施し、自由記入欄の記載内容を参考としました。
- 昨年度に続き夏季の暑気対策について
日中午後開催の教室の参加者の方につきましては、エアコンのある会議室を開放し、来館時や稽古の合間に、休憩して体温の調節をしていただきました。
- 専用使用（貸館）の料金支払いについて
現金払いが原則ですが、クレジットカードや交通系カードでの支払いや銀行振り込みをご利用いただきました。
- 虫が多いことは、公園の自然環境なので、ご理解いただきますようお願いしつつ、特にムカデやハチについて専門家による害虫駆除を実施しました。

6 外部専門家意見

- ・利用料収入及び自主事業収入が計画より下回った要因について、少子化によるものと分析されているが、①少子化のスピードと競技人口減少のスピードの関係はどうか？少子化以上に競技人口の減少が起きている種目も多い ②少子化は今後も確実に予想されるので、少子化を前提とした収支の安定を目指すなど、これまでの積み上げだけでない経営のあり方も検討していただくことをお願いしたい。
- ・HPの見やすさは個人的にも同意している。
- ・専門性の高い施設ゆえ、利用者の満足度やコミュニティは強固であると見受けられる。引き続き専門的な知見を活かした運営を行いつつ、柔道・剣道の裾野拡大（子供、競技者だけでなく、ツーリズムの観点から新たな取り組みを検討することも可能）に尽力していただきたい。
- ・前年度・当年度ともに人件費の計画実績差額が相当程度発生しているが、正確な人員配置や先を予測した適正な予算設定をもとに、差額解消につなげていただきたい。

7 最終評価

評価項目	評価	所見
成果指標の達成	A	
市費の縮減	B	
管理運営の履行状況	B	
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営		
事業計画の実施状況		
施設の有効利用		
社会的責任・市の施策との整合性		
総合評価	B	

令和6年度 指定管理者年度評価シート

1 基本情報

施設名称	大阪城弓道場
施設所管課・担当	経済戦略局 スポーツ部 スポーツ施設担当
条例上の設置目的	弓道場は、市民の健康増進と文化的な都市生活の確保に寄与することを目的とする。
業務の概要	市民に、柔道、剣道、なぎなたや弓道を行う場を提供し、日本古来の伝統武道に接する場を提供することにより、武道の普及振興を図る。
成果指標	アンケート調査による利用者満足度数値
数値目標	利用者満足度85%以上
指定管理者名	公益財団法人大阪武道振興協会
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日（5年間）
評価対象期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日

2 管理運営の成果・実績

成果指標		利用者満足度
数値目標		80%
年度実績		68.0%
達成率		85.0%

利用状況

	当年度	前年度	前年度比
利用人数	18,658	17,612	105.9%
稼働率			

3 収支状況

収入		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
業務代行料	実績	9,326,300	9,199,030	938,300	
	計画	8,388,000	9,199,030		
利用料金収入	実績	6,835,850	6,494,850	-514,150	射場が屋外のため熱中症特別警戒などでの外出自粛が影響している
	計画	7,350,000	7,350,000		
その他収入 （自主事業収入）	実績	3,204,338	3,487,842	-675,662	射場が屋外のため熱中症特別警戒などでの外出自粛が影響している
	計画	3,880,000	3,880,000		
合計	実績	19,366,488	19,181,722	-251,512	
	計画	19,618,000	20,429,030		

支出		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
人件費	実績	13,344,554	16,692,537	3,177,754	
	計画	10,166,800	10,166,800		
物件費	実績	9,782,419	7,891,673	2,012,419	計画時と比較して諸費が値上がりしている
	計画	7,770,000	7,770,000		
その他事業費 （自主事業支出）	実績	587,855	604,542	-1,093,345	
	計画	1,681,200	1,681,200		
合計	実績	23,714,828	25,188,752	4,096,828	
	計画	19,618,000	19,618,000		

令和 6 年度 指定管理者年度評価シート

4 管理運営状況の評価（1 次評価）

（1）成果指標の達成

評価項目	達成率	評価	特記事項
利用者満足度	85.0%	C	

（2）市費の縮減

市費の縮減に係る取組状況	評価	特記事項
<p>○ 光熱水費の料金が上がり、職員だけでなく利用者の皆様、関係武道団体の皆様も協力して、SDG s の取り組みの一環として光熱費の節約に取り組みました。修理できない旧型の電気機器やガス機器はエネルギー消費が少ない同型機種に交換することで、光熱費を節約しました。</p> <p>弓道場に関しては、誤射の心配があるので、照明は間引くことができませんが照明を順次LEDに切り替え、電気代の削減をある程度実現しました。</p> <p>○ 大会や昇級審査は、ホームページ（サイト）をご覧いただいて、申し込みをメールでいただくなど、郵送代、紙代、電話代を節約し、さらに申込用紙の様式は、そのまま大会準備作業や翌年の申し込みにコピーできるよう、毎年の同一様式とし、申し込み側の利便性の向上と道場側の正確性向上を実現しました。</p> <p>一方、IT環境にない規模の道場については、紙媒体での掲示や、参加勧奨のための案内の郵送や電話による勧奨を継続しました。</p> <p>○ 競技団体は、貸館の利用ですが、大会等の全体の経費削減にもご協力いただきました。</p> <p>会議室、講師控室、応接室の利用は事前に申し込みいただき、必要最小限をお願いしました。</p> <p>○ 職員間も紙媒体での情報交換は最小限とし、ラインやメール送信やパソコン内の閲覧を推奨し、社内でも徹底的に無駄を省きました。備品はもちろん、消耗品など「もの」を大切に扱う精神を養い、年少の利用者（練習生）にも指導者として範を示しております。</p>	B	

（3）管理運営の履行状況

評価項目	評価	特記事項
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営	B	
事業計画の実施状況	B	
施設の有効利用	B	
社会的責任・市の施策との整合性	B	

令和6年度 指定管理者年度評価シート

5 利用者ニーズ・満足度等

○ 昨年度から継続している取り組み

ご利用の方からのご質問、ご意見をお聞きすることをまず第一としました。

館内で気づかれたこと、疑問に思ったことを口頭でもすぐお教えいただけるよう、お答えさせていただけるよう、話しやすい受付の接遇を心がけております。アンケートに書くほどではないけれど、施設の利用者、管理者に感謝している、また、例年のことですが指導の先生によりしくお伝えください、という感想を受付で述べる利用者の方も多数おられました。

大阪市のスポーツ施設に係るアンケート調査を長期間実施し、自由記入欄の記載内容を参考としました。

○ 的場の安土が固いという声について

平常は的の近辺だけをほぐして、的の付け替えを行っていますが、さらに的的の中間や上部は固くなっており、的を外した矢を抜きにくいという声がありました。

昨年度に続き、河内長野にある木工場に木くずをもらいにいき、職員の出身大学柔道部生10名以上をアルバイトに、毎週月曜日夜間、射を行わない初級弓道教室の時間に限って安全に木くずを混ぜて安土全体をほぐしました。昨年度と同時期に整備事業をしたので、それまでのアンケートでは「安土の整備はしてくれるのか」という心配のお声はいただきましたが、実施完了すると、「個人利用の時間帯を1日も休まずに整備時間を工夫してくれたのが評価できる」「毎年継続して整備してくれた」「安土が柔らかく矢が抜きやすい」と利用者から評価されました。

○ 虫が多いことは、公園の自然環境問題なので、ご理解いただきますようお願いしつつ、特にムカデやハチについて専門家による害虫駆除を実施しました。

6 外部専門家意見

・利用料収入及び自主事業収入が計画を下回っており、昨年度に続き赤字決算であることは改善を促したい。

・まずは、計画と実績の乖離を減らすこと、実態にあった目標設定を行うことが大切である。そのうえで、赤字を避けるために何を行うか、優先順位を検討していただきたい。

※屋外という施設特性もあり天候の影響を受けることは理解するが、個人利用者数をみると、冬季の利用者数も夏季と大きく変わらない現状であり、施設の持続的な運営を考えると対策の検討が必要である。

※人件費が計画を大幅に上回っており、より精緻な計画策定を求めたい。

・今年度については、利用者満足度が大きく低下しており、その要因も事業報告書には記載されていないように見受けられるが、満足していない利用者から話を聞くなど、きっちりと原因究明・要因分析に取り組まれない。

・新規事業を開催余地が無い旨の記述をされておられますが、個人利用可能な枠が多い午後・夜間の時間帯で未経験者を対象とした事業などの取組余地はありませんでしょうか。民間のノウハウを活かした柔軟な発想で利用者の拡大に努められたい。

7 最終評価

評価項目	評価	所見
成果指標の達成	C	
市費の縮減	B	
管理運営の履行状況	B	
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営		
事業計画の実施状況		
施設の有効利用		
社会的責任・市の施策との整合性		
総合評価	B	